

2018年度 環境活動レポート

環境経営方針

1. 経営理念
2. 環境経営方針

会社概要

1. 事業者 及び代表者名
2. 所在地
3. 事業内容
4. 事業規模

組織体制

1. 環境管理責任者
2. 組織体制

環境経営目標

環境への取組

取組実績と評価



株式会社 大西熱学

環境経営方針

1. 基本理念

私たちは環境保全への取り組みが経営課題であると認識し、主要製品である環境試験装置、カロリーメータ、クリーンルーム、一般空調装置、無響室などの設計、製造、販売及びメンテナンスを通じて広く社会の環境技術革新に寄与するとともに、持続可能な社会の発展に貢献します。また、温暖化防止対策や廃棄物対策などにより、製品の環境負荷低減に努力します。

2. 環境経営方針

- 製品並びにサービスが与える環境影響を自覚し、その改善を図ると共に汚染を予防します。
- 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 当社に適用される環境関連法規、自主基準及び同意するその他の要求事項を守ります。

会社概要

1. 事業者 及び 代表者名

株式会社 大西熱学
代表取締役社長 大西 康仁

2. 所在地

東京都墨田区緑1-19-9

3. 事業内容

環境試験装置、各種カロリーメータ、クリーンルーム、バイオ関連装置、各種恒温恒湿槽、超低温装置、VOC測定装置、CO2オイル循環率測定装置、冷凍冷蔵装置、冷暖房・給排水衛生設備、空調関係機器等

以上に関する諸装置の設計、製作、工事の請負、販売、サービス業務等の一切の関連事業、コンピューターソフトの開発・販売

4. 事業規模

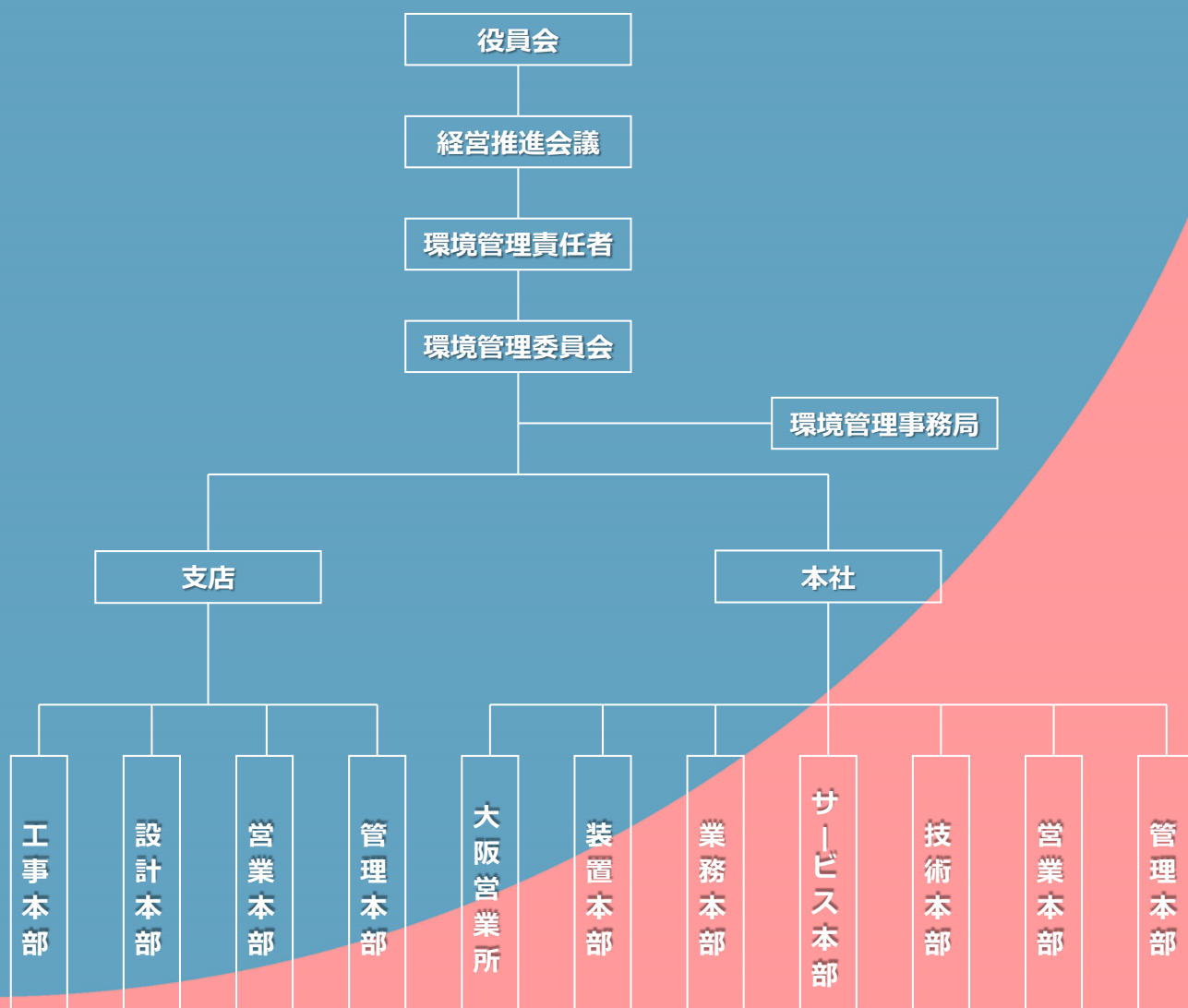
資本金 1億円
売上高 92億円
事業所 中部支店
大阪営業所、土浦営業所、静岡営業所
小牧事業所、サービスセンター
白井工場
社員 235名

組織体制

1. 環境管理責任者

- 1) 環境管理責任者 田中 成知
- 2) 連絡先 環境管理事務局
TEL : 03-5625-0024
FAX : 03-5625-0026

2. 組織体制



環境経営目標

1. 社員に対して環境教育を実施する

2. 電気使用量	2015年度比	3%	削減
3. 水道使用量	2015年度比	1%	削減
4. ガソリン使用量	2015年度比	3%	削減
5. ゴミ排出量	2015年度比	3%	削減
リサイクル率	2015年度比	3%	向上

環境への取組

1. 社員教育

- 環境社会検定（eco検定）の取得推進
- 環境取組企業への視察
- 結果のビジュアライズ

2. 電気使用量削減

- 蛍光灯の計画的交換（省エネタイプ）
- 省エネタイプのOA機器を推進
- 空調の設定温度（冷房時26℃以上、暖房時22℃以下）遵守
-風量を強風設定にし、設定温度を守る
- クール・ビズ／ウォーム・ビズ
- 白井工場電気の見える化：SMART METER導入

3. 水道使用量削減

- 炊事場、洗面台、洗濯機、トイレなどにおける節水の励行

4. ガソリン使用量削減

- ハイブリットカーおよびエコカーの導入
- エコドライブの徹底
- 公共交通機関の使用促進
- ライドシェアリング(相乗り)の促進

5. ゴミ排出量削減 リサイクル率向上

- ゴミ分別化の徹底（分別表の活用促進）
- 回覧物等の電子化促進
- 紙ベースのカタログ、資料などの受領削減（ネット配信利用促進）

取組実績と評価（1）

1. 目標に対する実績・評価

1) 社員教育

- ① 環境社会検定取得推進 合格者 11名 / 取得者合計 57名
- ② 電気、ガソリン、水道使用量、ゴミ排出量を定期的に社内ネットにて公開
結果のビジュアライズとして数値を物の量に置き換えて報告
※各使用量はP.6,7に記載
- ③ 環境関連イベントへの参加、および講習会、セミナー
 - 2018年05月 2018NEW環境展 / 2018地球温暖化防止展
 - 2018年07月 スマートエンジニアリングTOKYO2018
 - 2018年12月 エコプロダクツ2018
 - 2019年02月 スマートエネルギー2019
 - 2019年03月 2019NEW環境展 / 2019地球温暖化防止展

 - 2018年10月 工場見学「スーパーエコタウン(ゴミ処理場)見学会」

 - 2018年10月 「温暖化の現場を訪ねて」シンポジウム
 - 2018年12月 産業による河川の高度利用と水環境保全に関するシンポジウム
 - 2018年12月 「ゼロから分かる海洋プラスチック問題」シンポジウム

2) 白井工場スマートメータ(日本テクノ)導入

3) フロン管理システムの運用

取組実績と評価 (2)

	電気使用量 (kWh) [Co2換算値] (kg-Co2)	水道使用量 (m3) [Co2換算値] (kg-Co2)	ガソリン使用量 (ℓ) [Co2換算値] (kg-Co2)	ゴミ排出量 (kg)	リサイクル量 (kg) [リサイクル率] (%)
2014年度	487,098 [254,265]	2,444 [880]	158,661 [368,094]	39,494	9,811 [24.8%]
2015年度	468,502 [232,377]	1,850 [666]	159,207 [369,360]	38,658	11,928 [30.8%]
2016年度	414,295 [203,419]	1,756 [632]	149,778 [347,484]	32,419	12,582 [38.8%]
2017年度	446,321 [211,556]	1,611 [580]	156,772 [363,712]	32,280	10,735 [33.2%]
2018年度	414,194 [196,328]	1,645 [592]	152,105 [352,882]	33,598	12,336 [36.7%]
削減率 2015年度比	-4.7%	-12.9%	-1.5%	-16.5%	2.4%

- ※ 対象事業所 : 本社、S C、白井工場、土浦営業所、大阪営業所、中部支店、小牧事業所、静岡営業所
- ※ 電気使用量 : 東京電力株式会社 CO2排出係数を使用
 ・2015年度 0.496
 ・2018年度 0.462
- ※ リサイクル率 = リサイクル排出量÷ゴミ排出量

取組実績と評価 (3)

◎ 年度別グラフデータ

① 電気使用量.....

2015年度比 3 %の削減目標に対し、

11.6%の減少

◆2017年 白井工場に空調を導入した

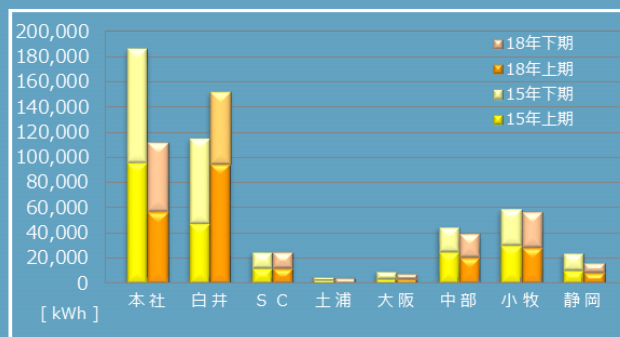
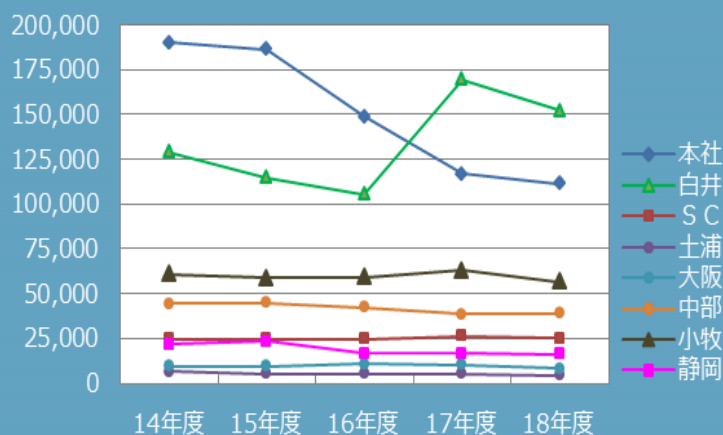
影響で、大幅な電力使用量の

増加を招いてしまった。

2018年度はスマートメーターの導入で

2017年度比で11 %改善した。

[kWh]



	電気使用量 (kWh)	CO2換算値 (kg-CO2)	電気使用量 2015年度比
15年度上期	225,899	112,046	0.2% 増加
18年度上期	226,267	104,535	
15年度下期	242,603	120,331	-22.5% 削減
18年度下期	187,927	86,822	

② 水道使用量.....

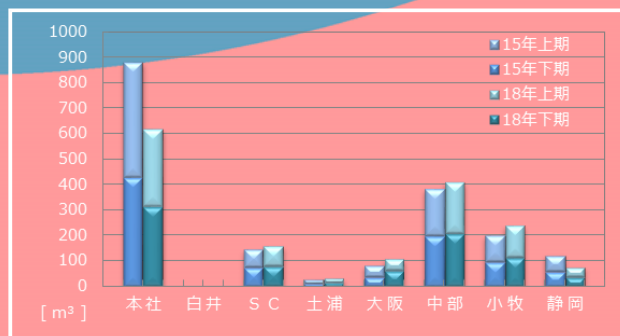
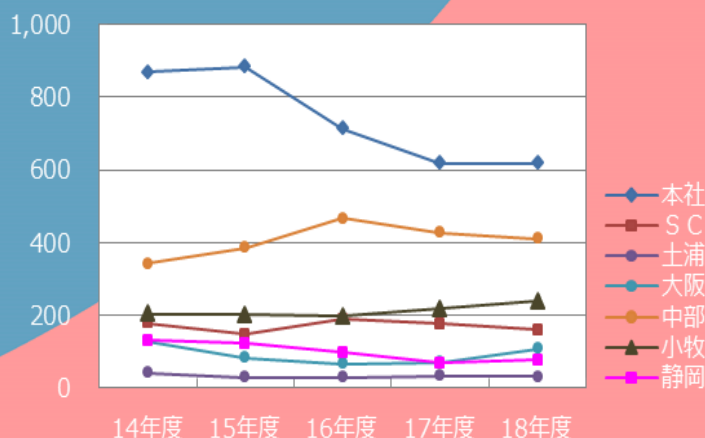
2015年度比 1 %の削減目標に対し、

11.1%の減少

◆2015年比では昨年同様改善したが

昨年度比で見ると3%増となってしまった。

[m³]



	水道使用量 (m³)	CO2換算値 (kg-CO2)	水道使用量 2015年度比
15年度上期	946	340	-13.1% 削減
18年度上期	822	296	
15年度下期	904	326	-9.0% 削減
18年度下期	823	296	

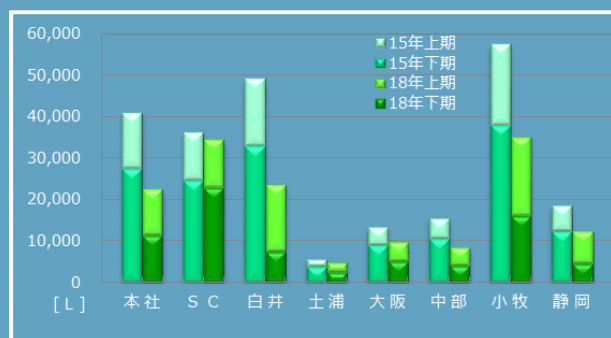
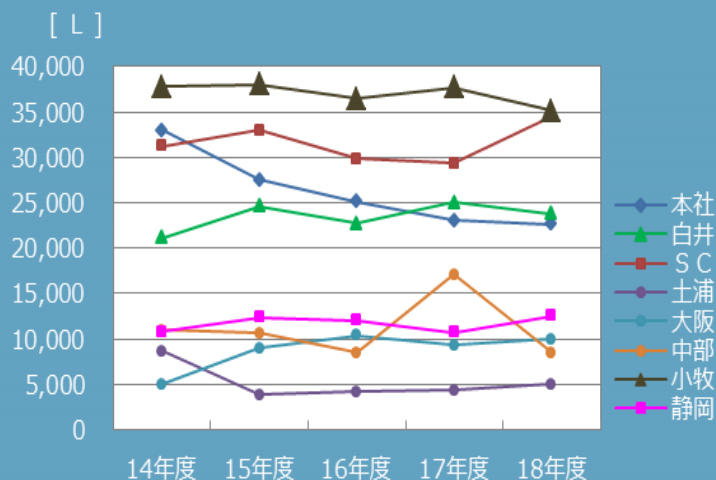
取組実績と評価 (4)

◎ 年度別グラフデータ

③ ガソリン使用量……………

2015年度比3%の削減目標に対し、
4.5%の減少

◆全体では改善を達成する事が出来たが
支店別ではSCが大きく増加してしまった。



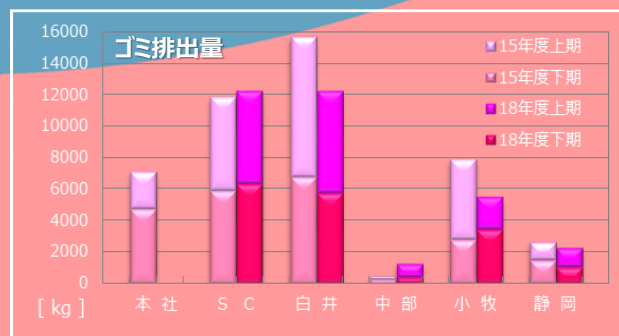
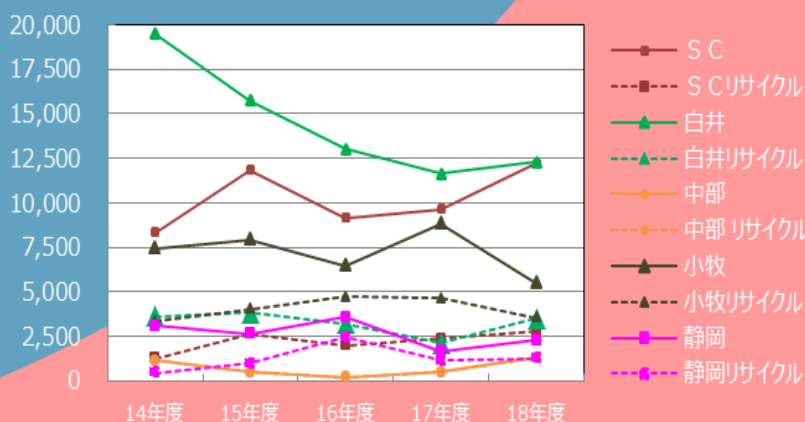
	ガソリン使用量 (ℓ)	CO2換算値 (kg-CO ₂)	ガソリン使用量 2015年度比
15年度上期	80,464	186,677	-4.1% 削減
18年度上期	77,198	179,099	
15年度下期	78,743	182,683	-4.9% 削減
18年度下期	74,907	173,783	

④ ゴミ排出量……………

2015年度比3%の削減目標に対し、 [kg]
13.1%の減少

⑤ リサイクル率……………

2015年度比3%の向上目標に対し、
5.9%の向上



	ゴミ排出量 (Ig)	リサイクル率 (%)	ゴミ排出量 2015年度比	リサイクル率 2015年度比
15年度上期	21,495	30.8%	-22.4% 削減	1.2% 工場
18年度上期	16,671	32.0%		
15年度下期	17,163	30.9%	-1.4% 削減	10.4% 向上
18年度下期	16,928	41.4%		

取組実績と評価（5）

3. 活動結果の評価・改善策

1) 活動結果

2018年度は全ての項目で目標を達成する事が出来た。

特筆すべきは白井工場の電気項目である。

2017年工場に空調を導入した結果、大幅な電力使用量の上昇を招いてしまった。対策として電力使用量が見える化する「スマートメーター」を導入、より具体的に使用電力を意識するようになり、工場に勤める社員全員が無駄な電気を使用しないような行動を自発的に行うようになった。

その結果2017年度から11%削減という大きな結果に繋がった。

水・ゴミの項目では目標である基準年比較では達成をしているが、昨年度比だけを見ると微増（水3% ゴミ4%）という結果になってしまった。

今年度は上記2項目の改善に注力していきたい。

2) 改善項目

- ・目標・取組み内容の分析・検討
- ・結果および現状を分析し、取組み内容を見直しをする。
- ・例年、継続して削減出来ている事業所の取組み内容を分析し他の事業所に展開する。

4. 環境関連法規等の遵守状況

分類	環境法規の名称	分類	環境法規の名称
	環境基本法	エネルギー	エネルギーの使用の合理化に関する法
大気	大気汚染防止法	化学物質	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法
水（取水）	工業用水法		P R T R 法
	ビル用水法		フロン類排出抑制法
水（排水）	水質汚濁防止法		P C B を含む廃棄物の処理対策について
	下水道法		P C B 廃棄物特別措置法
	浄化槽法		毒物及び劇物特別措置法
土壌	土壌汚染対策法	危険物・ガス	消防法
騒音	騒音規制法		高圧ガス保安法
振動	振動規制法	立地・組織	工場立地法
悪臭	悪臭防止法		特別工場における公害防止組織の設備に関する法律
廃棄物・リサイクル	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	状況 ● 環境関連法規への違反はありません。 ● 遵守事項における当社での評価も問題ありません。 ● 関係者当局よりの違反等の指摘及び近隣よりの苦情は過去3年間ありません。 ● 実施施工した現場において、建設リサイクル法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理を行いました。	
	包装容器リサイクル法		
	家電リサイクル法		
	食品リサイクル法		
	建設リサイクル法		
	自動車リサイクル法		

取組実績と評価（6）

5. 総評

環境活動を始め14年、自己宣言から7年が経ちました。

2018年度、全社として電気使用量、水道使用量、ガソリン使用量、ごみ排出量及びリサイクル率の全てにおいて目標値を達成する事が出来ました。これも社員一人一人が日頃から環境に対する高い意識の表れだと考えます。

昨年度未達成となっていました、ガソリン及びリサイクル率が改善されております。特にガソリン使用量に付きましては仕事量が増えるなかでも改善されており、エコ運転、アイドリングストップなど一人一人が意識して実践した結果だと思います。今後も今の意識をさらに高めてエコ運転の励行、駐車時のアイドリングストップなどに努めて目標を常に達成できるようにして下さい。

また、リサイクル率に付きましては昨年度、白井工場のリサイクル率の低下が大きくなっていましたが本年度は目標を達成しています。今後もリサイクル率向上に努めて下さい。

ここ数年、eco検定合格者が増えてきました。環境管理に対する社員の意識も向上していると思います。環境意識の向上に伴い、今後は製品についても、環境に配慮した設計をするなどさらに環境への意識を向上させた、製品作りにも積極的に取り組んで下さい。

2019年6月30日

代表取締役社長 大西 康仁